

送配電及び配線設計 訂正のお知らせ

以下のように訂正いたします。

●70 頁 上から3行目の式

$$\text{不等率} = \frac{\text{個々の最大需要電力の総和}}{\text{総合した最大需要電力}} \times 100 [\%]$$

↓

$$\text{不等率} = \frac{\text{個々の最大需要電力の総和}}{\text{総合した最大需要電力}}$$

●70 頁 下から3行目

負荷率は 1 より小さい値～

↓

負荷率は 100% より小さい値～

●71 頁 上から11行目

～割ったもので, 1 より小さい値～

↓

～割ったもので, 100% より小さい値～

●126 頁 表3-17の表中から 内の数値 を削除する。

単 相 200V	接地極 付き	Ⓐ 250V 15A	Ⓐ 250V 15A	Ⓐ 250V 20A	Ⓐ 250V 30A
	接地極 なし		250V 15A	Ⓐ 250V 20A	Ⓐ 250V 30A
三 相 200V	接地極 付き		250V 15A	Ⓐ 250V 20A	
	接地極 なし		250V 15A	Ⓐ 250V 20A	Ⓐ 250V 30A

●139 頁 上から 5 行目

分岐回路は、 $\frac{4\,493}{1\,500}=2.9 \sim$

↓

分岐回路は、 $\frac{4\,488}{1\,500}=2.9 \sim$

●139 頁 上から 8 行目の式

$$\frac{(1\,704+750)-(1\,200+839)}{4\,493 \times 1/2} \times 100 = 18.4\%$$

↓

$$\frac{(1\,704+750)-(1\,200+834)}{4\,488 \times 1/2} \times 100 = 18.7\%$$

●139 頁 『図 3-2 2 分岐回路の設計』 の ④

④ 事務室他 照明 (839VA)

↓

④ 事務室他 照明 (834VA)

●140 頁 『図 3-2 3 電灯分電盤表の例』 の 容量 VA の数値

④ " 照明 839 → ④ " 照明 834

計 4\,493 → 計 4\,488